

説明文書

臨床研究名：

進行性腎細胞癌の治療実態に関する前向き観察研究

対象：

分子標的薬による全身治療を施行中または開始した進行性腎細胞癌患者

研究機関名（予定）：

大阪医科大学附属病院
大阪市立大学医学部附属病院
大阪大学医学部附属病院
大阪国際がんセンター
関西医科大学附属枚方病院
京都大学医学部附属病院
京都府立医科大学附属病院
近畿大学医学部附属病院
神戸大学医学部附属病院
滋賀医科大学医学部附属病院
奈良県立医科大学附属病院
和歌山県立医科大学附属病院

目的：

本邦における腎細胞癌薬物療法の使用実態を把握し、各薬剤の有効性、安全性と患者背景因子との関連を評価する。

方法：

診療記録を集計する。データ（患者背景、前治療歴、合併症、治療内容、治療経過、有害事象等）は匿名化の上、近畿大学医学部泌尿器科（主研究機関）へ提供。

期間：

2017年から2021年8月（症例登録期間は2019年8月）

意義：

症例数の豊富ながん治療専門施設における、治療薬の選択やそれぞれの薬剤による治療期間等の治療実態を把握することによって、どのような症例にどのような薬剤が使用されているのか、また、どのような症例に特定の薬剤の治療効果や有害事象が予想されるのか、といった点に関して示唆を得ることができると考えられる。

個人情報の扱い：

本研究に関するすべての研究者は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年2月28日改正）」に従って本研究を実施する。

個人情報および診療情報については、第三者が直接その患者を識別できないこととする。

問合せ先：

奈良県立医科大学泌尿器科学 田中宣道

本試験は、本学医の倫理審査委員会の承認を受け、学長の許可を得て行われる。

* 本研究への参加を希望しない場合は、その旨を外来担当医にお伝えください。